

日本史の定説を実験で検証する「風雲! 大歴史実験」



壇ノ浦の勝敗は潮流と無関係!  
武器別編制だった? 車懸りの陣!  
長篠の三段撃ちはなかった!?

NHK「風雲! 大歴史実験」  
制作班 編

「一谷の戦い『逆落とし』から、新選組『池田屋事件』まで!」

# NHK 「風雲! 大歴史実験」

時代を変えた戦いを実験で検証!  
歴史的大事件の真実に「科学」が迫る

◆美濃大返しの秘策 ◆真田丸の真実 ◆大坂城の石垣に秘められた匠の技 など

NHK BSで  
話題の  
歴史エンター  
テインメント

宝島社

# 数の力は質を凌駕するのか？

鉄砲を大量に駆使して、質の高い騎馬軍団を壊滅に追い込んだ信長。本当に「数の力は質を凌駕するのか」。最後の実験が始まる。

参加者はサバイバルゲーム愛好家のみなさん。このみなさんを二つのチームに分けて実験。技量、経験豊かなペテランチーム。そして、技量は平均的な足軽チーム。

使用する武器は、オモチャのライフルだ。まずは、ペテラン3人対足軽6

人。弾が当たると手を挙げて戦線離脱。スタートの瞬間、4秒でペテランチームは全滅。一方、足軽

赤チームの生き残りは2人。犠牲者が4人。犠牲者は足軽チームが多かった。

続いて、ペテラン3人と足軽9人。今回は5秒でペテランチーム全滅。足軽チームの犠牲者は2人。

さらに、ペテラン3人対足軽18人。これはペテランチームが4秒で全滅。一方、足軽チームはなん

と犠牲者がゼロ。

この実験について、NPOランチエスター協会の常務理事、研修部長の福永雅文さんは説明する。

## 銃撃戦では数が多いほど圧勝する

「ペテランチームに3人いますから、足軽チームも3人ぐらいの犠牲者が出ると思った人が多かったと思います。しかし、違いました。

これがランチエスターの第二法則です。兵力数の2乗倍に戦力があるという法則があるのです。

だから、足軽チームが18人になつた時、足軽チームは無傷なのに、ペテラングループが全滅したのです」

## 実験シーン

ペテランチームは3人で構成



ペテランといえども、相手が多くなると、反撃の糸口が全く見つからなくなつた

足軽チームは最終的に18人に



18人の時は圧勝。完全勝利だが、相手に誰の弾が当たったかはわからないという

2乗となる。銃撃戦では、数が多いほど、圧勝してしまう。しかし、信長が軍事力を高めるためにしたことは、これだけではなかつた。常備軍を用意したのだ。

そのために、信長は兵農分離を推し進め、鉄砲足軽まで改めた。信長の鉄砲隊には、安定した生活を求めて兵士たちが集まつくる。さらに、その兵士たちは城の

2乗となる。銃撃戦では、数が多いほど、圧勝してしまう。しかし、信長が軍事力を高めるためにしたことは、これだけではなかつた。常備軍を用意したのだ。

そこには屋敷を構え城下町が誕生した。城下町では商業や工業が奨励され、そこからの税収が兵士たちの給料になつた。新しい経済の循環が新しい鉄砲足軽を生み出した。

**実験の対戦チーム**

**ペテランチーム**

サバイバルゲーム愛好家のみなさん。黄色い腕章の技量、経験の豊かな方々

**足軽チーム**

サバイバルゲーム愛好家のみなさん。赤い腕章の比較的技量、経験の浅い方々